

再生可能な空き家の活用事例【日置市飯牟礼】

■飯牟礼の空き家活用の概要

日置市の空き家の「管理・保存・活用」の推進活動を図るため、所有者・地域住民・自治会等が更に空き家問題についての意識を高めるため、今後の県全体とした大きな地域課題・問題として、各市町村、地域住民と共に地域における空き家を地域創生の柱の一環として、負の遺産ではなく地域の宝へと転換していく取組をおこなった。

■飯牟礼の空き家活用の目的

県内の空き家について、再生可能な空き家の「管理・保存・活用」の推進を図る為、各市町村・自治会・関係団体との連携により所有者の想いを如何に次世代へ繋ぎ、これから地域創生として「人・居住（セーフティネット）・コミュニティ・環境・農業・起業or他産業での起業・雇用創出」の場として、空き家を先進事例個所として活用し県内の空き家活用のモデル化を図る。

■飯牟礼の空き家活用の内容

飯牟礼の空き家活用は、空き家の「管理・保存・活用」を推進するため、再生可能な空き家を地域の宝として有効活用するために再生活用を図った。また、終活・生前整理として空き家を整理するためには家財道具の整理・収納ワークショップ・心の整理による終活セミナー・空き家の清掃・協働作業によるD I Y等の開催による普及・啓発活動の取り組みをおこなった。

今回の取り組により、今後、空き家を抱える所有者、地域住民と良好なコミュニティづくりの場として、地域住民と共に空き家活用の取り組みを継続して行う仕組みづくり、程よい田舎暮らしを自由に参加・体感・学びの場の整備による拠点づくりとして共生・協働としておこなった。

今後、空き家問題を解決していく糸口になることを目的として、地域住民が抱える空き家の課題・問題解決に向けて、地域コミュニティを図り、現在も活動を地域連携で行い地域の魅力アップ・地域力の向上を目指し、関係人口を増やし定住・移住促進に向けた空き家活用を継続中。

■再生可能な空き家を生前整理として考える

終活・生前整理として空き家を放置させない心構えとして、相続問題から発生する、家・家財道具・お墓・仏壇等による課題と向き合いながら、ご自身の想いを相手に伝え、生前整理として“争続”ではなく、よい形で“相続”するために、これからは「終活・生前整理」が重要であると考えます。

- 現状把握：まずはご自身で現状を把握し、どのような対策をすべきかを検討する。
- 検討・課題：今後の空き家対策について、ご自身のおおまかな方針や希望を家族で共有する。
- 対策準備：対策の準備が早いほど選択肢が多くなるため、本人や家族にとって、より満足度の高い希望に沿った結果が期待できる。

空き家の年間活用スケジュール案

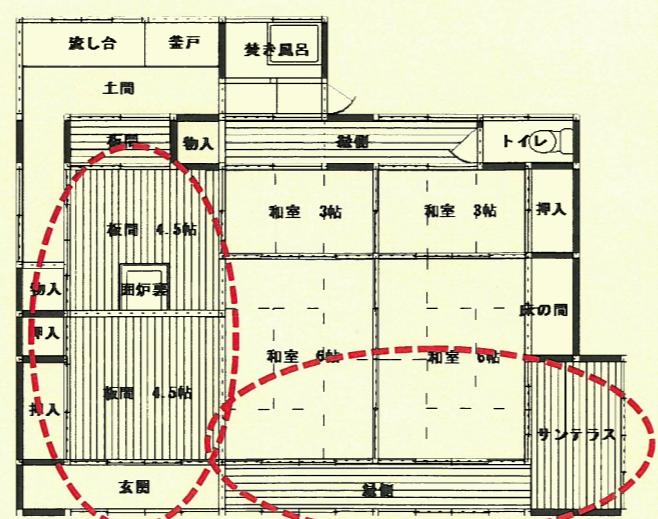


- カルチャーカフェ等の参加費用 一回あたり500円～
- 子供・多世代との交流によるイベント企画を実施する
- 国際交流による外国人も地域に溶け込めるような企画を実施する。

Before



After



長年廃墟同然の空き家を地域住民との協働作業により空き家の再生・活用に向けた改修作業をDIYで行った



空き家・空き地の土地活用も含めたプチマルシェ等の開催により、地域コミュニティ・空き家活用に繋がる



古民家を寺子屋として活用し、古民家を体験し、学びながら「個性・豊かな趣味」で日本文化を継承。



空き家再生により終活・生前整理セミナーを開催して空き家の普及・啓発と個別相談会を開催中

